



1 米山記念奨学会 事務局長交代のお知らせ

6月30日をもって、^{ゆのきひろこ}柚木裕子が事務局長を退任し、7月1日より^{みね じゅんこ}峯 純子が新たに事務局長に就任しました。なお、柚木前事務局長は、1年間アドバイザーとして事務局をサポートします。



【退任のご挨拶】

世界中がコロナ禍の対応に追われていた2020年7月に事務局長に就任し、ロータリー活動自体にも制限がかかる中、米山奨学事業は各地区と共に工夫を重ね、困難に耐え、乗り切ることができました。ひとえに、ロータリー会員の皆さまの熱き心、そしてご理解と努力の賜です。2023年度は米山学友による世界大会「再会 in 関東」の開催など、コロナ以前の明るさが戻りました。多くの米山学友から「懸け橋になりたい」、「恩返ししたい」という心強い言葉を何度も聞き、当事業に尽力された皆さまの積み重ねの成果として実感しています。感謝の気持ちと共に、当事業を率いるに相応しい^{みね じゅんこ}峯純子新事務局長にバトンを繋ぎます。皆さまの多大なるご支援、本当にありがとうございました。



【就任のご挨拶】

このたび柚木前事務局長の後任として事務局長に就任いたしました。歴代事務局長の中では最年少ですが、当財団に入職して21年になる経験の全てを生かし、この歴史ある奨学事業をさらに発展させ、次代に引き継ぐ役目を果たすべく誠心誠意努める所存です。VUCAと呼ばれる先の見通せない時代において、当財団も今後より一層、さまざまな変化への対応が必要になるものと思います。ご支援いただいておりますロータリー会員の皆さま、役員の皆さまをはじめ、関係する皆さま方のご指導とご協力を頂きながら、職員一同、その変化をプラスの力に換えて、この素晴らしい事業の発展のために尽力してまいります。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2 第2580地区米山学友会 40周年記念総会開催

7月6日、国際ロータリー第2580地区米山学友会の40周年記念総会が都内にて開催され、米山学友59人、現役奨学生35人を含む140人が集いました。当会からは若林紀男理事長、峯事務局長が臨席しました。



3部構成で行われた第1部は、会長のエンフボルド ガンエルデネさん（2014-15／東京江東RC）の開会の辞、若林理事長、同地区の石川彌八郎ガバナーの挨拶に続き、学友会の活動・会計決算・監査報告が行われました。また、新年度会長および役員^{ヨウシメイ}の選任が行われ、楊子明さん（2002-03／東京新橋RC）が会長に選出。登壇した楊さんは、今後の活動方針を発表し、学友会の活動強化や規模拡大などを掲げました。

第2部の講演会では、当会の鈴木喬評議員か

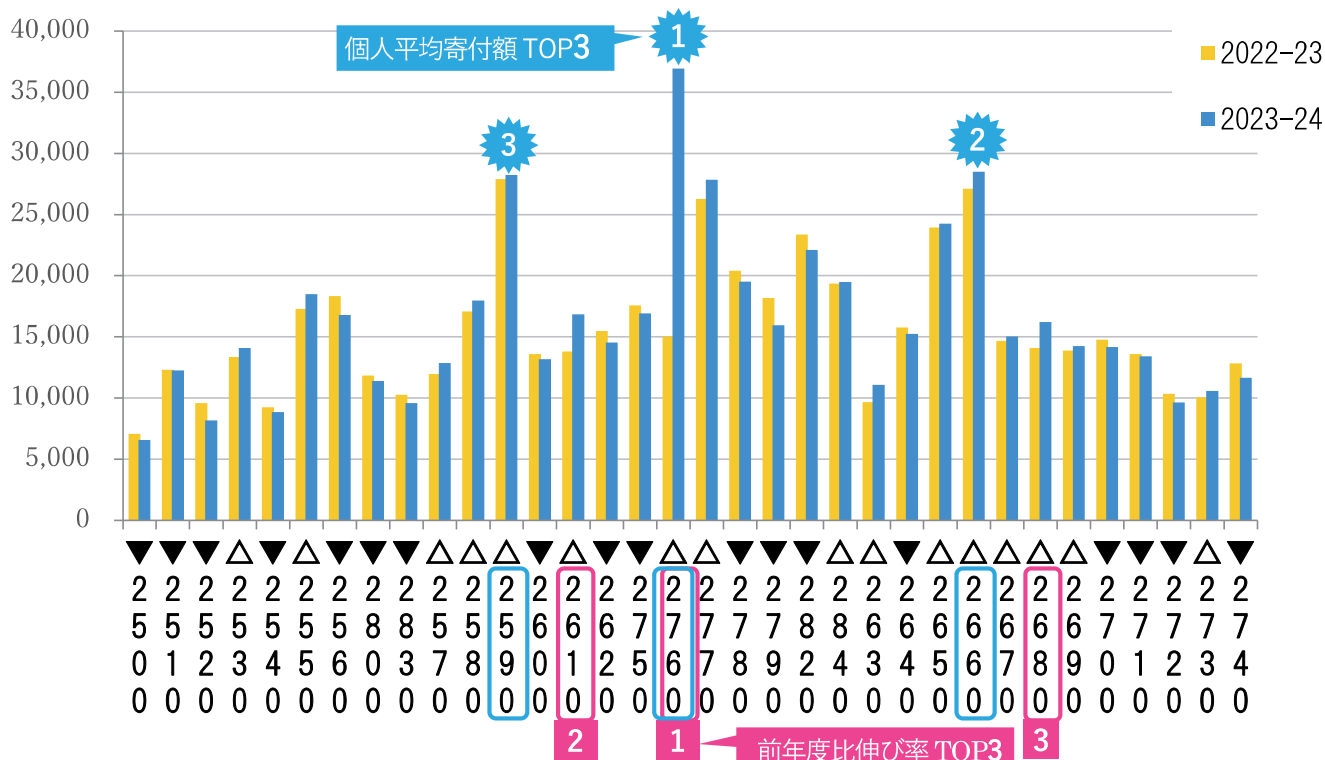
ら「ロータリー・米山梅吉・学友会」というテーマで、これまでの歴史についてお話されました。続けて、現在伊藤忠総研に勤める^{チョウウイーリン}趙瑋琳さん（2008／東京自由が丘RC）が登壇し、

「アジアの激変、挑戦と輝く未来」というテーマで、アジアの情勢や、ASEANの成長などについて講演。質疑応答では複数人が手を挙げるなど、有意義な時間となりました。

懇親会が開催された第3部では、米山奨学生・学友による楽器演奏、民族舞踊、マジックなどが次々に披露され、大きな盛り上がりで温かい拍手に包まれました。この日、米山学友たちは口々に再会の喜びや日々の感謝を伝え、40周年という節目を盛大に祝う1日となりました。

3 2023-24 年度 寄付金結果

2023-24 年度の寄付金は約 14 億 4,600 万円となりました。前年度比 1.6%増(普通寄付金:0.16%増、特別寄付金:2.18%増)、約 2,300 万円増加しました。とりわけ、年度初めの 7 月初旬に入金された 1 億円の高額寄付により、寄付総額は前年度を一度も下回ることはありませんでした。ご寄付いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。2024 年度も引き続き、よろしくお願いいたします。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：17,293 円】

① 第 2760 地区：36,935 円 ② 第 2660 地区：28,501 円 ③ 2590 地区：28,232 円

前年度比伸び率 TOP3

① 第 2760 地区：245.7% ② 第 2610 地区：122.1% ③ 2680 地区：115.0%

4 重要無形民俗文化財「相馬野馬追」を観覧

5 月 26 日、国際ロータリー第 2530 地区の米山奨学生 20 人とそのカウンセラーなどを合わせた 60 人が、相馬野馬追を観覧しました。

今回のイベントは、福島県で最も有名な伝統文化にもかかわらず、これまで米山奨学生を連れていく機会がなかった、ということで原町中央 R C が主体となり企画。地区のサポートを受けながら、実施に至りました。



御行列を観覧する奨学生たち

当日は、南相馬市原町区特設の桟敷席「御行列」や、相馬野馬追の目玉である「甲冑競馬」、
 加えて「神旗争奪戦」といった歴史絵巻を見学しました。参加したベトナム出身のドン ティ

ハーさん(2023-25/原町中央 R C)は、「相馬野馬追を通じて、日本の文化と南相馬について理解を深めることができました」と、感想を述べました。

ベトナム南米山学友会 第 1 期総会 開催のご案内

2024 年 7 月 28 日(日) 13:00~14:30(ベトナム時間) / 15:00~16:30(日本時間)

■ オンライン参加可能

※※ 申し込み期限：7/15(月)まで ※※

申込・詳細は QR コードから

